

# 知財マネジメント

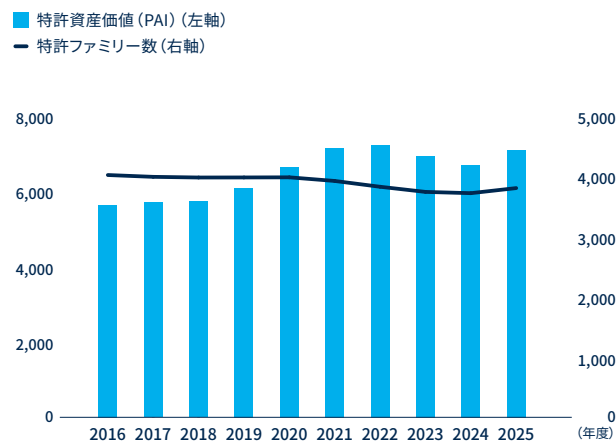
クラレグループでは、知的財産を戦略的に活用し、事業競争力の強化・収益拡大につなげることを目指して知財マネジメントを進めています。今後は、事業拡大が見込まれる海外での知財マネジメントの強化、ならびに知財マネジメントを支える人材の発掘・育成を重点テーマとし、事業目標の実現への寄与を目指します。また、イノベーション創出を知財面からサポートすることで、当社の成長に貢献します。

## 特許スコアの年次推移

当社は、事業状況と優先度を踏まえ、各事業の知財戦略に沿った特許ポートフォリオ<sup>※1</sup>の整備を継続的に実施することにより、事業競争力の強化を図っています。その結果、特許ポートフォリオの構成を経営戦略と整合させつつ、全体としての特許資産価値 (PAI)<sup>※2</sup>維持を実現しています。

今後も、知財戦略を明確にした上で、それに基づく特許ポートフォリオを特定し、適切な知的財産の獲得・権利化を進めます。これらの取り組みを通じて特許ポートフォリオを継続的に更新し、経営戦略および事業戦略の実現を支えていきます。

特許資産価値および特許ファミリー数<sup>※3</sup> (グループ全体)

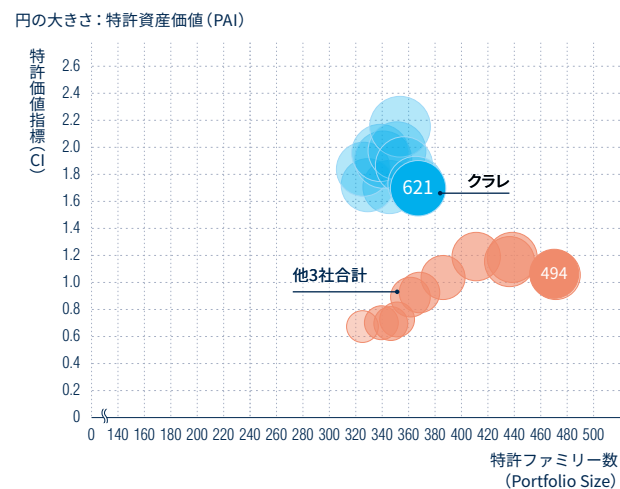


## 〈エバール〉の関連特許と競争優位性

1972年の事業化以来、当社はEVOH樹脂のリーディングカンパニーとして、食品包装材、樹脂製ガソリンタンク、床暖房用パイプ、真空断熱板など幅広い用途に向け、顧客と連携し、市場に先駆けて製品化してきました。これに並行して、製品化の過程で創出された多様な知的財産を適切に管理し、必要に応じて権利化することで、顧客価値創造に貢献するとともに、市場における当社の地位を確立し、当社の業績にも寄与してきました。

下図は、当社および当社以外のEVOH供給者が保有する関連特許の資産価値推移を示したものです。

EVOH関連特許の規模と資産価値



当社は、特許ファミリー数 (ポートフォリオサイズ)、特許資産の総価値 (PAI) において市場リーダーにふさわしい特許ポートフォリオを維持しています。特に他社への影響力を示す、特許1件あたりの特許価値指標 (CI)<sup>※4</sup>は、他社を凌駕する高い水準を維持しており、継続的な競争優位性につながっています。

## 社員の知財スキル向上

知的財産を戦略的に獲得・活用するためには、生産・販売・開発などの担当者が知財戦略を共有し、それぞれの役割を果たすことが重要です。当社では、全事業を対象に「知財戦略会議」を通じて、戦略の共有を行ってきました。さらに効果的かつ効率的な知財活動の実行に向け、2025年には特許庁が公開する「知財人材スキル標準 (version 2.0)」を参考に、各職種に必要な能力を示す独自の「知財スキル標準」を定めました。

今後このスキル標準を指標に、社員が必要なスキルを習得し、適切な知財活動を行うことにより、企業成長につながる知財マネジメントを推進します。

※1 米レクシスネクシス社のLexisNexis® PatentSight+によるデータを用いて当社が作成

※2 特許ポートフォリオの総価値を示す指標

※3 複数の国で出願・権利化された一つの特許発明のグループ数

※4 特許ファミリーの質と競争力を示す指標。市場的特許価値指標 (MC: Market Coverage) と、後願特許からの引用に基づいて算出される技術的価値の指標 (TR: Technology Relevance) を掛け合わせたもの